

風ビュー！電気ピカッ！エネルギー大作戦

SDGsラジオを読んでみよう！

海や山で、大きな風車が回っているのを見たことはありませんか？あれは、風の力を使って電気をつくる「風力発電」の風車です。風はずっと吹きつづける自然の力なので、石油などのようになくなることはありません。しかも、電気をつくるときに地球温暖化を進めてしまう「二酸化炭素」を出さないんです。このように自然のもので、使ってもなくなることがなく、地球上にやさしい電気のもとを「再生可能エネルギー」といいます。まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」は、「ReENE（リエネ）」という会社をつくり、風や太陽光などの再生可能エネルギーを使って電気をつくり、広めています。また、ReENEは北海道の松前町に風力発電所とお花畑や公園などが集まった場所をつくるなど、まちづくりにも取り組んでいるんですよ。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：太陽光発電・風力発電のイメージ写真
(東急不動産公式HPより)



画像参照：「リエネウインドファーム松前」のイメージ画像
(東急不動産公式HPより)

今の日本では、電気をつくるために使われている燃料の約7割は石油や石炭といった「化石エネルギー」です。日本は元々エネルギー資源が少なく、化石エネルギーの多くを海外からの輸入に頼っています。しかし、地球上の化石エネルギーには限りがあるので、いつかは使い切ってしまいます。そのため、これからは太陽光や風力など、自然の力を使った「再生可能エネルギー」を使うことが大切です。再生可能エネルギーは、化石エネルギーのようになくなることがなく、さらに地球温暖化を進めてしまう二酸化炭素を出さないため、すばらしいエネルギーであると言えます。

そこで、まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」では、「地球環境を少しでも良くしたい」との思いから、再生可能エネルギーの会社「ReENE（リエネ）」をつくりました。ReENEでは、風力発電や太陽光発電、水力発電などを利用した地球上にやさしいさまざまな方法で発電を行っています。そして、北海道の松前町では、まちと協力して「リエネウインドファーム松前」を開園しました。これは風力発電所と花畑、公園や農業体験ができる農園などを一体化させた施設で、まちの発展にもつながっています。地球上にやさしく、さらに、まちも元気に。東急不動産ホールディングスは、このリエネウインドファーム松前を通じて、環境を守ることとまちづくりの両方の視点から、SDGsの達成をめざしています。

キーワード

エネルギー資源

電気や熱をつくるためのものとになるものです。石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料、太陽光や風力などの自然の力がエネルギー資源として使われます。

松前町

北海道の南西部にある渡島半島の町で、江戸時代は松前藩の城下町として栄えました。現在は桜がきれいな場所としても有名です。

対象ゴール



みんなにできること！

再生可能エネルギーをもっと世の中に広げるには、どうすればいいか考えてみましょう。

おさらい

- 太陽光・風力など自然の力を利用したエネルギーを「再生可能エネルギー」という。
- 再生可能エネルギーは、「なくならない・地球温暖化の防止に役立つ」という特長がある。
- 東急不動産ホールディングスは、「リエネウインドファーム松前」という、まちづくりにもつながる事業に取り組んでいる。

メモ



SDGs ラジオ